

かがやく 女性部

「注文の多いやさわ母ちゃん市」営業開始！
心機一転！3月から支店前でプレハブ営業！

女性部矢沢支部の産直の会「注文の多いやさわ母ちゃん市」が3月から今シーズンの営業を開始します。

幾度もの解散の危機を乗り越え、会にとっては初めての専用施設となるプレハブを矢沢支店敷地内に設置し、心機一転！今年度は3月中下旬より毎週木曜日に販売をスタートします！

清水ひろ子会長は「地域や支店の支えと部員の頑張りで幾度もの危機を乗り越えてきた。地域やJAに貢献出来るよう一步一步着実に進化させていきたい」と語りました。



注文の多いやさわ母ちゃん市の歴史

青空市の先駆けとして、Aコープやさわ店舗前で毎週木曜日に母ちゃん市を20年以上展開！

平成25年に同店の閉店に伴い販売場所を無くし、一旦は解散の危機に…

地域住民や部員からの強い要望もあり、同年に矢沢支店近くのJA元資材倉庫で販売を再開！

平成29年8月に倉庫の解体に伴い、販売場所をまたもや無くす…

矢沢支店と連携してすぐさま支店前での販売を開始！

支店前での販売は人の流れも良く、また地域住民が支店に集うきっかけも生まれました。

平成30年3月、矢沢支店敷地内にてプレハブ営業を開始（予定）！

営業日時：毎週木曜日 午後2時～午後4時

詳しいオープン開始日や場所などは矢沢支店にお問い合わせください。

知って納得JA —協同組合の力—

Q JAは何をしている協同組合なの？

A 農業を中心に、地域住民のくらしをより良くするための事業を行っています。

JAは「農業協同組合」なので、地域農業を発展させ、組合員のくらしを守り高めることが最も重要な目的です。農業の生産力を高め、農業所得を向上させるため、営農技術の指導の他、安全で品質の良い肥料や農薬、農機具などを適正な価格で提供するなど、農家を総合的に支えています。

JAでは「農業」を農地、食べ物、地域のくらしや環境なども含めて広い意味で捉えます。学校給食への農産物の提供や農業体験などを通じて地産地消を促し、農業と食・くらしをつなげています。信用・共済事業の他、高齢者福祉事業なども行い、地域にくらす人々の生活をより良いものにすることで、地域の活性化に貢献しています。

（監修＝広島大学 助教 小林元）

JAが行っている主な事業

指導事業



農家にアドバイスをする仕事です。職員が農家のもとに向き、おいしくて安全な農産物の作り方や家畜の育て方、農業の経営などについて相談にのっています。

販売事業



農産物などを販売する仕事です。農家から集めた農産物を共同で市場に出したり、直売所で販売したりしています。農産物を適正な値段で販売することは、農家の経営を支えるためにとても大事なことです。

購買事業



質の良い物をまとめて買って分ける仕事です。共同購入のしくみで、安全で品質の良い肥料や農薬、家畜の餌、農業機械、くらしに必要な物を計画的にまとめて買うことで、組合員は安定的に購入することができます。

信用事業



組合員からお金を預かり（貯金）、それぞれの組合員が必要ときに、借りることができる（貸付）ようにするなどの仕事です。集まったお金は組合員の農業やくらしのために役立てられ、地域の金融機関として大切な役割を果たしています。

共済事業



組合員やその家族、地域の人々が安心してくらすための仕事です。組合員はあらかじめ一定の「共済掛金」を拠出して共同の財産を準備し、火事や病気、自動車事故などが生じた場合に「共済金」を支払います。

耕そう、大地と地域のmiraい。